

日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会

Injury Alert (傷害注意速報)

No. 16 温泉卵の製造器によるやけど

事例	年齢：1歳6か月 性別：男	
傷害の種類	熱傷	
原因対象物	温泉卵の製造器	
臨床診断名	熱傷（前胸部5%：うち3%は水疱形成）	
発生状況	発生場所	実家の台所
	周囲の人・状況	台所のダイニングテーブル上で温泉卵の製造器を利用して温泉卵を作っていた。夕飯の準備をしていた。
	発生時刻	8月31日，18時50分頃
	発生時の詳しい様子と経過	男児がキッチンに入ってきて椅子にのぼり，手を伸ばして温泉卵の製造器（ポット）を倒した。ポットのふたと本体の隙間から湯があふれ出て，こぼれてきた湯で前胸部に熱傷を負った。沸かした熱湯を容器に入れて10分くらい経過したところだった。家族は着衣のままの児にシャワーを当てて冷却し，救急車で来院した。温泉卵の製造器（写真）は断熱素材が入っており，アイスボールとしても使用できるものであった。
治療経過と予後	熱傷部位は前胸部で，水疱を形成し（Ⅱ度），外来で2週間にわたって処置を行った。	

【こどもの生活環境改善委員会からのコメント】

1. やけどの好発年齢は1歳0か月から1歳6か月であり，本事例の年齢である。
2. 子どもの生活環境に新しい製品が出回ると，必ず新しい事故が発生する。本事例もその典型例である。
3. 50℃以上の熱湯が存在している容器で，それがこぼれ出るのを防止する仕掛けがなければ，乳幼児のやけどは必ず発生する。
4. 温泉卵を作ることがブームであり，同じようなやけどが多発することが危惧される。
5. 早急に，ポットを倒しても中の熱湯がこぼれ出ない仕掛けを付加した製品に改善する必要がある。

